

ふるさと歴史アラカルト

変わりゆく岩国駅

岩国駅は橋上駅舎化工事が完了し、すでに新しい姿を見ることが出来ます。岩国市の玄関口でもある岩国駅は、市外からの観光客も利用し、一日の平均乗車人数は約6千人になります。今回は、この岩国駅のたどってきた歴史を振り返ってみたいと思います。

明治30(1897)年9月25日、山陽鉄道の広島―徳山間が開通した際、麻里布に岩国駅が開設されました。開業当時の写真を見ると、駅前に人力車が複数台待機しており、当時の様子を知ることが出来ます。

昭和4(1929)年、岩徳線の一部区間の開通に伴い、現在の西岩国駅が岩国駅として開業し、従来の岩国駅は麻里布駅と改称されます。しかしその後、麻里布地区の発展と交通要衝上の点から、昭和17年に岩国駅は西岩国駅に、麻里布駅は岩国駅と改称されました。

昭和20年には第二次世界大戦が激化し、終戦の前日に岩国駅周辺は大規模な空襲に遭います。空襲後の写真を見

てみると、爆弾によってできたおびただしい数の穴が残っている様子が分かります。この攻撃によって岩国駅は壊滅してしまいました。同年12月には仮駅舎が建てられましたが、昭和22年に火災によって全焼してしまいます。その後再建され、昭和24年に先代の駅舎が完成しました。この駅舎は約65年もの間、多くの市民に利用されてきたので、皆さんの記憶にもまだ鮮明に残っているのではないのでしょうか。

このように、岩国駅は明治時代が開業してから約120年の歴史があります。今後は新しい駅舎と共に、新しい歴史を刻んでいくことでしょう。



明治30年(上)と現在(下)の岩国駅



空襲後の岩国駅周辺(昭和20年撮影)

いわくにちようこかん 岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館

住所：横山二丁目7-19 ☎0452
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)

7月1日まで岩国徴古館において、企画展「写真でふりかえる岩国」を開催しています。

岩国市 人口・世帯

人口 136,020人 【前月比 + 358人】 男性 64,540人 女性 71,480人

世帯 66,047世帯 【前月比 + 295世帯】 ※外国人人口を含む(平成30年5月1日現在)

交通事故発生件数 4月分事故件数 27件(101件) 死者数 0人(1人) 傷者数 29人(122人)

※高速道路発生分を除く

※()内は平成30年累計

広報テレホン

休日在宅医療機関、イベント情報などをお知らせしています。 **テレホンサービス ☎231234**

目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。音声読み上げのためのテキスト版を、ホームページに掲載しています。

お問い合わせはお気軽に、広報戦略課広報班へ ☎295016 FAX213337